

あおいだより

平成29年
4月号

発行
アメニティ
委員会
葵の園・我孫子

今月の予定

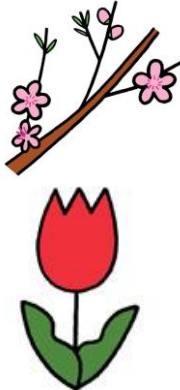
* ハートウィル

六・十・二十・二十四

* お花見

四月一日から

四月八日までの間



コラム

おぼけ 施設長 金子 立

小学校四年の時の事だっと思う。
当時の小学生は縄張り意識が強かった。
縄張りとは自分が通う学校の学区であった。他の小学校の学区内で遊んでいるとケンカを仕掛けられたりもした。

僕は、同級生三人で高台にある公園で遊んでいた。そこは他の小学校の学区内である。そこで、同学年ぐらゐの三人組に声をかけられた。僕は気持ちの上では逃げる準備をしていた。ケンカにでもなったらたまらない。ところが三人組は一緒に遊ぼうというのである。おもしろい遊びを教えてくださいというのである。

まず 三人組の指示でピンを集めた。
ピンは圧倒的に牛乳ピンが多かった。当時は牛乳は店で買うものではなく、牛乳販売店と契約をして家に配達してもらったものだった。だからそれぞれの家の前には牛乳ピンを入れる箱が置いてあり、そこには牛乳ピンが入っていた。そうしたピンを拝借(というより盗った)のである。

高台にある公園の周囲は崖になっていた。崖の下には民家が建っている。崖の上から崖の下の家の屋根に向かってピンを投げるのである。ピンと一緒に石も投げつけた。投げる石はもちろん小石である。大きな石を投げつけてはいけないことぐらゐの分別は小学生にもあった。屋根の上でピンが割れる。

家からはオヤジが出てきて顔を真っ赤にして僕たちを怒鳴りつけるが崖を登るわけにもいかずどうすることもできない。

一軒の家にピンや石を投げつけた後

三人組の一人が同じ事をするよとオバケが出てくる家があるから行ってみようと言った。場所を変えオバケの出るといふ家に 崖の上からピンと小石を投げつけた。用意したピンや石がなくなつたがオバケは出てこない。言い出した少年は「いつもは出てくるんだけどなあ」と言った。もう少しやってみようと言ふ事でもまたピン、石を集めてきて投げつけた。はたして オバケが出てきた。顔の皮膚はでこぼこして垂れ下がり 眼や鼻 耳もはつきりしない。オバケは僕達に向かって何か叫んでいる。これは人間なのかオバケなのか僕にはわからなかつた。

オバケの正体を知つたのは医学部に入学して数年してからだった。レックリングハウゼン病という難病だった。あの時は本当に悪いことをしたと思つた。

ひなまつり

♪灯りをつけましょ ほんぼりに
お花をあげましょ 桃の花♪

三月二日 一階ユニットでは ひなまつりを
行いました。

まずは 担当スタッフ手作りの十二単衣を着た
女性入所者お雛様と束帯をまとった飯野事務長。
そして 男性入所者様扮する男雛と女性スタッフ
のお雛様。いよいよ、お内裏様の記念撮影！
どの顔にもはにかむ笑顔とちよっと緊張がまじっ
ていましたが、素敵なツーショット写真のできあ
がりです。

撮影した写真は台紙に貼り、入所者様の居室に飾
らせていただきました。

記念撮影の後は お楽しみおやつ！

ロールケーキの上に イチゴとバナナであしらっ
たプチ人形をのせ あまりの可愛さに食べるのが
もったいないくらいでした。

入所者様からも「いろんな顔があっっておもしろい
ね」と見て良し！ 食べて良し！

この日に向けての担当スタッフの心を込めた設営
は それは それは見事な物でした！



そして。
ユニット入り口に飾られた桜の樹。
花びらを折り そのひとつひとつに色を
染め作り上げた満開の桜。
入所者様はもちろん面会に来られたご家
族様、スタッフはひと足早い春の訪れに
大感激でした。
担当スタッフの皆さん お疲れ様でし
た！



あしがき

あっという間の一年でした。

「あおいだより」は 季節を追い 行事を追
い業務の合い間をぬって毎月発行することが
できました。

掃除に関しても 各部署のスタッフの皆さん
のご協力のおかげで一年かけてすすみ
まで行き届いた掃除ができました。

ありがとうございました。

個人としては委員会を通して いろいろな
意味で勉強させていただきました。また 各
部署のスタッフとも顔見知りになる事が出
来て とても楽しい一年でした。

来期 一期一会を大切に…

(S)